

⑫ 公開特許公報(A) 平1-279481

⑮ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)11月9日

G 11 B 23/28
B 42 D 15/02

3 3 1

Z-8622-5D
A-8302-2C
J-8302-2C※

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

⑭ 発明の名称 記録媒体カード及び記録媒体カード処理装置

⑯ 特 願 昭63-108163

⑰ 出 願 昭63(1988)4月30日

⑱ 発 明 者 三 宅 隆 浩 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シヤープ株式会社
内

⑲ 発 明 者 小 林 省 三 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シヤープ株式会社
内

⑳ 発 明 者 太 田 賢 司 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シヤープ株式会社
内

㉑ 発 明 者 前 田 茂 己 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シヤープ株式会社
内

㉒ 出 願 人 シヤープ株式会社 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

㉓ 代 理 人 弁理士 本庄 武男

最終頁に続く

明 細 書

1. 発 明 の 名 称

記録媒体カード及び記録媒体カード処理装置

2. 特 許 請 求 の 範 囲

1. 情報の記録、再生或いは消去の内、少なく

とも一つを行うことのできる記録媒体を有する記録媒体カードにおいて、上記記録媒体カードの本体に、情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能かを表す情報を有することを特徴とする記録媒体カード。

2. 情報の記録、再生或いは消去の内、少なく

とも一つを行うことのできる記録媒体を有する記録媒体カードに対して上記情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行う記録媒体カード処理装置において、上記記録媒体カード処理装置の本体に、上記記録媒体カードに設けられた情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能かを表す情報を検出する検出手段を設け

たことを特徴とする記録媒体カード処理装置。

3. 発 明 の 詳 細 な 説 明

(産業上の利用分野)

本発明は、情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことのできる記録媒体を有する記録媒体カード、及び上記記録媒体カードに対して情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行う記録媒体カード処理装置に関するものである。

(従来技術及び発明が解決しようとする課題)

従来、この種の記録媒体カードとしては、例えば光カード、ICカード及び磁気カード等が知られている。

上記記録媒体カードは、その形態から、手軽に持ち運べ、情報容量が大きく、更に、使用者の必要に応じて情報の記録、再生或いは消去を行うことができるという特徴を有している。

そのため、上記記録媒体カードの使用者にとっては、随時情報の追加、変更或いは不要な情報の消去を行うことができるという有利性がある反面

、重要な保存情報を誤って消去したり、第3者が保存用とは気付かずに異なる情報を書き込んだりするという危険性が伴う。

そこで、本発明の目的とするところは、記録媒体に記録された情報を誤って消去や変更されることなく保護することのできる機能を備えた記録媒体カード及び記録媒体カード処理装置を提供することにある。

(問題を解決するための手段)

本発明に係る記録媒体カードは、情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことのできる記録媒体を有する記録媒体カードにおいて、上記記録媒体カードの本体に、情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能か否かを表す情報を有する点を要旨とする。

また、本発明に係る記録媒体カード処理装置は、情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことのできる記録媒体を有する記録媒体カードに対して上記情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行う記録媒体カード処

理装置である。

この実施例に係る記録媒体カードは、第1図(a)、(b)に示す如く、記録媒体カードの本体1に、記録媒体2に対して情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能か否かを表す情報表示部3を設けることにより構成されている。

即ち、上記情報表示部3は、本体1の適宜位置に貫通孔を穿設することにより形成されており、同図(a)は、例えば情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能な状態を示す。同図(b)では、上記情報表示部3に不透明シール6が貼着されており、例えば情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが不可能な状態を示す。

そして、上記不透明シール6を使用者の意思に応じて取り剥がし自由なものとすることにより、記録媒体カードに対する例えば情報の書き込み可能な状態若しくは不可能な状態を容易に形成することができる。

処理装置において、上記記録媒体カード処理装置の本体に、上記記録媒体カードに設けられた情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能か否かを表す情報を検出する検出手段を設けた点を要旨とする。

(実施例)

以下添付図面を参照して、本発明を具体化した実施例に付き説明し、本発明の理解に供する。尚、以下の実施例は、本発明を具体化した一例であって、本発明の技術的範囲を限定する性格のものではない。

ここに、第1図(a)、(b)はそれぞれ本発明の一実施例に係る記録媒体カードの平面図、第2図(a)、(b)は本発明の他の実施例に係る記録媒体カードを示すものであって、同図(a)は第1図(a)の相当図、同図(b)は第1図(b)の相当図、第3図は本発明の一実施例に係る記録媒体カード処理装置に記録媒体カードが装填された状態での要部斜視図、第4図は本発明の他の実施例に係る記録媒体カード処理装置の要部構成を示すものであって第3図の相当

図である。同図(a)、(b)は本発明の他の実施例に係る記録媒体カードを示す。

本実施例においては、情報表示部3に、切れ目7。を有する折り取り自在な爪7が設けられている。同図(a)は例えば情報の書き込み可能な状態、同図(b)は情報の書き込みが不可能な状態をそれぞれ示す。

上記情報表示部3としては、その他、本体1の表面に、プリントマーク或いは凹陥部を設けることにより構成することも可能である。

更に、記録媒体2上に、他の情報と共に情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能か否かを表す情報を表すマーク或いはコード等を予め記録しておくことにより、記録媒体カードを構成することも可能である。

引き続き、上記記録媒体カードに対して情報の記録、再生、消去の内、少なくとも一つを行う記録媒体カード処理装置について説明する。

この実施例に係る記録媒体カード処理装置は、第3図に示す如く、図外の装置本体の所定位置に

、上記記録媒体カードに設けられた情報表示部3を検出する検出装置8(検出手段)を設けることにより構成されている。

上記検出装置8は、発光素子4及び受光素子5を有して構成されており、この発光素子4、受光素子5は、受光素子5からの信号に基づいて情報表示部3の状態を判断する図外の判断装置に接続されている。

従って、上記したように構成される記録媒体カード処理装置においては、図外の装置本体に記録媒体カードが装着されて、発光素子4から発射された光ビームが情報表示部3を通過して受光素子5により受光された場合、この記録媒体カードは、例えば情報の書き込みが可能な状態と判断される。

他方、上記発光素子4から発射された光ビームが情報表示部3の不透明シール6や爪1により遮光された場合、上記記録媒体カードは、例えば情報の書き込みが不可能な状態と判断される。

上記したように、本実施例に係る記録媒体カー

ド及び記録媒体カード処理装置を用いることにより、記録媒体2に記録された情報を誤って消去や変更されることなく確実に保護することができる。

尚、本実施例における記録媒体カード処理装置においては、記録媒体カードの情報表示部3が凹部により構成されている場合、検出装置8として発光素子4と受光素子5とが並設された光反射式のものが適用される(第4図参照)。

この場合、受光素子5により受光される発光素子4からの反射光の光量により、例えば情報の書き込み可能な状態若しくは不可能な状態が判断される。

上記検出装置8としては、上記したような光字式の他に、図様式の例えはりミットスイッチにより構成することも可能である。

更に上記記録媒体カード処理装置においては、情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能か否かを示す情報を表すが他の情報と共に記録媒体2に記録されている場合、記録媒体カードに対する例えば情報の書き込み可

能な状態若しくは不可能な状態は、他の情報と共に処理装置本体に直接読み込まれて判断される。

(発明の効果)

本発明は、上記したように、情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことのできる記録媒体を有する記録媒体カードにおいて、上記記録媒体カードの本体に、情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能か否かを表す情報を有することを特徴とする記録媒体カード及び情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことのできる記録媒体を有する記録媒体カードに対して上記情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行う記録媒体カード処理装置において、上記記録媒体カード処理装置の本体に、上記記録媒体カードに設けられた情報の記録、再生或いは消去の内、少なくとも一つを行うことが可能か否かを表す情報を検出する検出手段を設けたことを特徴とする記録媒体カード処理装置であるから、上記記録媒体カード及び記録媒体カード処理装置を用いることに

より、記録媒体に記録された情報を誤って消去したり変更されることなく確実に保護することができる。

4. 図面の簡単な説明

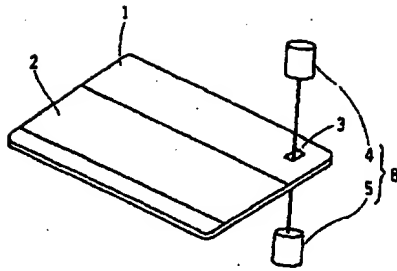
第1図(a)、(b)はそれぞれ本発明の一実施例に係る記録媒体カードの平面図、第2図(a)、(b)は本発明の他の実施例に係る記録媒体カードを示すものであって、同図(a)は第1図(a)の相当図、同図(b)は第1図(b)の相当図、第3図は本発明の一実施例に係る記録媒体カード処理装置に記録媒体カードが装着された状態での要部斜視図、第4図は本発明の他の実施例に係る記録媒体カード処理装置の要部構成を示すものであって第3図の相当図である。

(符号の説明)

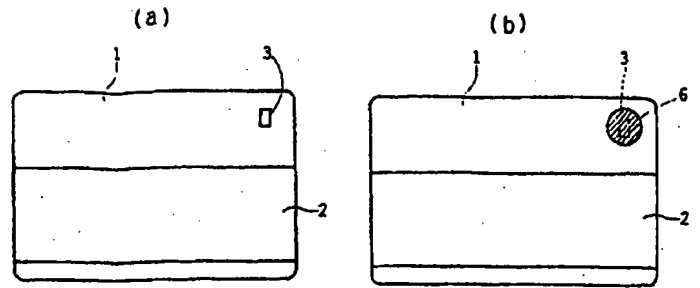
- | | |
|---------|---------------|
| 1…本体 | 2…記録媒体 |
| 3…情報表示部 | 4…発光素子 |
| 5…受光素子 | 8…検出装置(検出手段)。 |

出願人 シャープ株式会社
代理人 弁理士 本庄 武男

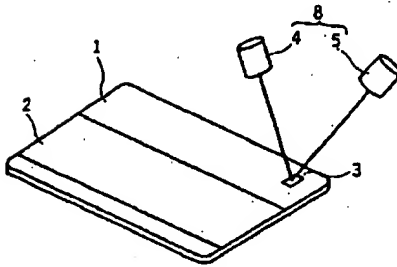
第3図



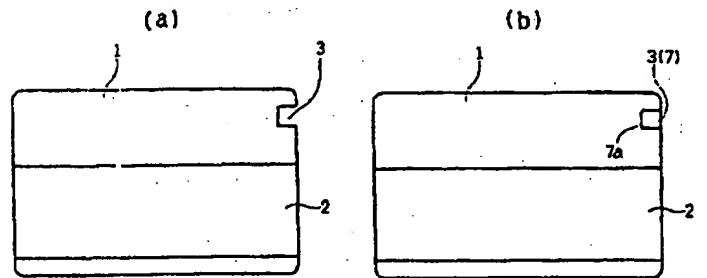
第1図



第4図



第2図



第1頁の続き

⑨Int. Cl. 4

G 06 K 19/00
G 11 B 5/82
7/24

識別記号

庁内整理番号

P-6711-5B
7350-5D
B-8421-5D

発明者 石川 俊夫

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社
内